

本市で初の女性議会を開催しました



女性議会 議員の皆さん

(平成 27 年 2 月 9 日 市役所 5 階 議場にて)

※女性議員の紹介、質問項目は 2 頁をご覧ください

議会だより

にらさき

第 2 回臨時会	P 2
第 4 回定例会議決結果	P 5
ここが聞きたい (一般質問) ...	P 6
委員会活動報告	P 11

第 163 号

2015 年 2 月

女性 議会

2月9日(月)、女性団体連絡協議会が主体となり、市議会議場で初めての女性議会が開催されました。女性議員は、連絡協議会に加盟する団体やサークル等から推薦された皆様、18名です。議長に鶴田 みゆきさん、副議長に清水 ひろ美さんが選出され議事を進行しました。(各議員の質問内容は下表をご覧ください)

■ 女性議会の様子は市ホームページで録画配信をします。 ■ 問い合わせ：企画財政課企画推進担当(内線 355・356)

	議員名(敬称略)	選出団体名	議事の進行
議長	鶴田みゆき	韮崎市愛育会	開会から休憩まで議事進行
副議長	清水ひろ美	韮崎市男女共同参画推進委員会	休憩後から閉会まで議事進行
質問の内容			
質問議員	生山 澄江	山梨県女性のつばさ韮崎市	【質問】女性の市政への参画について ・審議会等における女性の登用状況について ・市女性職員の登用と人材育成について
	小池 洋子	韮崎市赤十字奉仕団	【質問】人口減少を食い止めるための施策について
	林 紘子	韮崎市民合唱団	【質問】教育について ・生涯学習の拠点について ・市文化財の伝承について
	浅川 節子	竜岡公民館女性部 すみれ会	【質問】小学校の英語教育について ・市内小学校の現状について ・市教育委員会の見解と展望について
	武井 晶子	竜岡公民館女性部 すみれ会	【関連質問】退職英語教員の活用(英語教育推進検討委員会)について
	矢崎 清香	韮崎市愛育会	【質問】小中学校の教育環境の整備について
	田中 理恵	韮崎市赤十字奉仕団	【関連質問】いじめ対策について
	山田 淳子	韮崎消費生活研究会	【質問】ごみの分別、減量化について 【質問】消費者教育の推進について
	若尾 鈴子	韮崎生活学校	【関連質問】食品ロス削減について
— 休 憩 —			
質問議員	多田 麗奈	NPO法人韮崎子育て応援団 にら★ぐるみん	【質問】災害時の備蓄について
	斎木 美和	子育て支援団体 Ma~ma made	【関連質問】大雪時の除雪体制について
	保坂 真弓	子育て支援サロンいたずらビット	【質問】通学路の安全確保について
	矢崎 永子	韮崎市ボランティアの会	【質問】健康な暮らしを守る保健、医療の充実について 【質問】地域の絆を深める福祉社会の実現について
	小澤カツ子	韮崎市ボランティアの会	【関連質問】障がい者福祉の充実について(福祉総合窓口の実績)
	角井 節子	NPO法人韮和会	【質問】障がい者の自立支援と地域福祉推進について
	藤嶋 喬枝	韮崎市食生活改善推進委員会	【質問】市雇用の非正規職員等の処遇改善について

第2回 臨時会 (11月) 臨時会が11月19日召集され、21日までの会期3日間で審議を行いました。提出された案件は2件で、全会一致で可決しました。

【条例】

- 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

【選挙】

副議長選挙及び山梨県後期高齢者医療広域連合議員補欠選挙が行われました。選挙の結果は次のとおりです。

- 副議長選挙 当選 秋山 泉議員
[投票総数 18票 ⇒ 投票結果 秋山 泉議員 17票 小林恵理子議員 1票]
- 山梨県後期高齢者医療広域連合議員補欠選挙 当選 岩下良一議員(指名推薦による選出)

【人 事】

議会運営委員会及び各常任委員会の選任を行いました。各委員会の新しい構成は次のとおりです。

■ 議会運営委員会

議会の開催日程の調整や公正円滑に運営されるよう協議するほか、議案や請願・陳情などをどこ
の常任委員会に付託するかを審査します。

委員長	一木 長博
副委員長	輿石 賢一
委員	小林恵理子 清水 正雄
	野口 紘明 森本由美子
	守屋 久

■ 財務常任委員会

予算、決算に関する事項について審査します。

委員長	森本由美子
副委員長	田原 一孝
委員	小林恵理子 清水 正雄
	一木 長博 藤嶋 英毅
	岩下 良一 輿石 賢一
	小林 伸吉
	西野 賢一
	清水 康雄
	高添 秀明
	宮川 文憲
	守屋 久
	浅川 裕康



■ 総務教育常任委員会

政策秘書課、総務課、企画財政課、会計課、議
会事務局及び教育委員会の所管する事項並びに他
の委員会に属さない事項を審査します。

委員長	小林 伸吉
副委員長	宮川 文憲
委員	清水 正雄 藤嶋 英毅
	野口 紘明 秋山 泉

■ 市民生活常任委員会

市民課、税務課、収納課、福祉課、介護保険課、
保健課、静心寮及び市立病院の所管する事項を審
査します。

委員長	岩下 良一
副委員長	高添 秀明
委員	清水 一 森本由美子
	輿石 賢一 浅川 裕康

■ 産業建設常任委員会

環境課、農林課、商工観光課、建設課及び上下
水道課の所管する事項を審査します。

委員長	西野 賢一
副委員長	清水 康雄
委員	小林恵理子 一木 長博
	田原 一孝 守屋 久

第4回 定例会

平成26年第4回定例会は、12月8日から25日までの18日間の会期で開
催しました。

今議会では、専決処分2件の承認、平成26年度一般会計、特別会計、事業
会計に係る補正予算（7案件）、条例の制定及び改正（16案件）、教育委員会
委員の選任など27案件を審議し、原案のとおり可決・同意しました。

【専決処分】

平成26年度一般会計補正予算（第3号）及び訴えの提起について市長から提案理由の説明を受け承認
しました。

■ 平成26年度一般会計補正予算（第3号） 補正予算額 1,535万1千円

衆議院議員総選挙の執行経費として急きょ補正予算を必要とするも、議会を招集する時間的余裕がないので
専決処分したものです。

■ 訴えの提起

市営住宅家賃債権に係る支払督促の申し立てに対し、債務者から督促異議申し立てがあったため、訴訟に移
行する必要があるが議会を招集する時間的余裕がないので専決処分したものです。

※専決処分とは、議会が議決すべき事項を緊急な場合などに地方自治法の定めにより、議会の議決・決定を受けず地方自治体の長が意思決定することをいいます。専決処分の後には、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。

【補正予算】

一般会計補正予算（４号）、国民健康保険特別会計補正予算（第１号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）、下水道事業特別会計補正予算（第２号）、介護保険特別会計補正予算（第１号）、介護サービス事業特別会計補正予算（第１号）及び市立病院事業会計補正予算（第２号）は、財務常任委員会で審査された後、本会議で審議し可決されました。

■ 平成 26 年度一般会計補正予算（４号） 補正予算額 3,255 万 7 千円

- 主な歳出
 - ・ 峡北広域行政事務組合負担金…… 1,103 万円
ゴミ処理特別会計負担金（施設整備費等）の増額
 - ・ 雪害対策事業費…… 2,052 万 9 千円
平成 26 年 2 月の雪害で被災した農業者向けの
経営体育成事業費の増額

■ 国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 補正予算額 1 億 510 万 8 千円

- 主な歳出
 - ・ 退職被保険者等療養給付費・高額療養費
…… 1,471 万 4 千円
退職被保険者等の療養給付費及び高額給付費の
増額見込み
 - ・ 高額医療費共同事業医療費拠出金・保険財政共同
安定化事業拠出金…… 1,651 万 4 千円
各共同事業拠出金概算額の確定に伴う増額
 - ・ 国保事業基金積立金…… 4,718 万円
繰越金剰余分の積立

■ 後期高齢者医療特別会計補正予算 （第 1 号） 補正予算額 250 万 4 千円

- 主な歳出
 - ・ 後期高齢者医療広域連合納付金…… 522 千円
繰越金確定に伴う納付金の増額

■ 下水道事業特別会計補正予算（第 2 号） 補正予算額 △ 276 万 6 千円

- 歳出
 - ・ 職員給与費…… 26 万 3 千円
 - ・ 消費税の確定に基づく減額…… △ 302 万 9 千円

■ 介護保険特別会計補正予算（第 1 号） 補正予算額 7,737 万 2 千円

- 主な歳出
 - ・ 居宅介護サービス給付費及び施設介護サービス
給付費…… 3,956 万 1 千円
サービス保険給付費の増額見込み
 - ・ 介護保険事業基金積立金…… 3,562 万円
繰越金剰余分の積立

■ 介護サービス事業特別会計補正予算 （第 1 号） 補正予算額 △ 342 万 6 千円

- 歳出
 - ・ 職員給与費…… 12 万 9 千円
 - ・ 居宅介護予防支援事業費…… △ 355 万 5 千円
計画作成業務委託の減額等

■ 市立病院事業会計補正予算（第 2 号） 補正予算額 △ 3 億 2,903 万 1 千円

- 支出
 - ・ 材料費等の減額、退職給付引当金の計上方法の
変更等に伴う減額等

【条例等】

今定例会に上程された条例及びその他の案件は、12 月 25 日本会議において審議し、可決されました。

各条例、その他の案件への賛否の結果（議決）については、5 頁の「平成 26 年 第 4 回定例会議決結果一覧表」をご覧ください。

【人 事】

教育委員会委員 小川 龍馬氏の任期が平成 26 年 12 月 24 日満了となるため、その後任者の任命について議会の同意を求める必要があるため、次の方の任命に同意しました。

しむら しんいち
志村 臣市氏（藤井町）

平成26年 第2回臨時会議決結果一覧表

■全会一致の議案

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第64号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	選挙第1号	山梨県後期高齢者医療広域連合議員の補欠選挙について	当選
議案第65号	ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決			

平成26年 第4回定例会議決結果一覧表

■賛否のあった議案

(清水一議長を除く) ○賛成 ●反対

議案番号	件名	浅川裕康	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	奥石賢一	秋山泉	岩下良一	森本由美子	野口紘明	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	議決結果		
議案第67号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決	
議案第73号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第74号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第76号	保育の必要性の認定に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案第81号	税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決

■全会一致の議案

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
報告第14号	専決処分の承認を求めることについて(平成26年度一般会計補正予算(第3号))	承認	議案第80号	市長等給与及び旅費条例等の一部を改正する条例	可決
報告第15号	専決処分の承認を求めることについて(訴えの提起について)	承認	議案第82号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
議案第66号	平成26年度一般会計補正予算(第4号)	可決	議案第83号	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
議案第68号	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第84号	市営墓地使用条例の一部を改正する条例	可決
議案第69号	平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	議案第85号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第70号	平成26年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第86号	保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例	可決
議案第71号	平成26年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	議案第87号	放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例	可決
議案第72号	平成26年度国民健康保険市立病院事業会計補正予算(第2号)	可決	議案第88号	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に基づく介護保険関係条例	可決
議案第75号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	議案第89号	市民駐車場の指定管理者の指定について	可決
議案第77号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決	議案第90号	水道管設備撤去請求事件への独立当事者参加について	可決
議案第78号	地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例	可決	議案第91号	再編保育園建築主体工事請負契約の変更について	可決
議案第79号	職員給与と条例の一部を改正する条例	可決	議案第92号	教育委員会委員の任命について	同意

一般質問

にらさきのまちづくり ここが聞きたい

9人の議員が市政を問う

一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。詳細な内容は、" 韮崎市ホームページ→市議会→会議録検索 " でご覧いただけます。録画中継も配信しています。

次に、政策の優先順位について伺います。市長の掲げた3つの挑戦については、「強くて美しいまち」「元気で豊かなまち」「夢と思いやりのあるまち」について、それぞれ果敢に挑戦していかれると思いますが、財政

質問 先ず、第6次長期総合計画との整合性についてであります。第6次長期計画は、平成21年度から30年度までの10年間の長期計画であり、中間年である本年3月に横内前市長が後期基本計画として策定したものであります。今後は、内藤市長が考えている3つの挑戦を果敢に推進するための事業化であります。私は後期基本計画の中で示された主な取り組みを中心に事業化を行うべきであると考えますが、見解を伺います。

市長の目指す3つの挑戦について



高添 秀明 議員
[韮政クラブ]

その他質問

- ◆「チーム韮崎」について
- ◆生き残る自治体と消滅自治体について

的、また人材的にも優先順位をつけることが必要になると思います。また、消費税の税率引き上げも先送りされ、地方に交付される財源も少なくなることも予想されます。このような状況の中で、どのように政策の優先順位をつけていく考えなのか伺います。

質問 先ず、第6次長期総合計画との整合性についてであります。私は、市政運営の基本方針として、第1に「強くて美しいまち・韮崎」第2に「元気で豊かなまち・韮崎」第3に「夢と思いやりのあるまち・韮崎」の実現という3つの挑戦を掲げ、市民の皆さまと一体になって新たなまちづくりに取り組む所存であります。これは現在の第6次長期総合計画に位置づけられた基本方針を継承するものであり、引き続き、本市のさらなる発展を目指してまいります。

す。また、その具体的に取り組む事業については、昨年度策定の後期基本計画において示された重点プロジェクトに続く48の施策を中心として事業化を進めてまいりたいと考えております。

次に、政策の優先順位についてであります。私の掲げた3つの挑戦などの公約につきましては、災害教育の充実等の既に着手されていて、更に充実させたい事業や、小規模企業基本条例の制定等のすぐに着手していく事業、また、赤ワインの丘プロジェクト等、時間をかけて検討し実現させていく事業などに区分されると考えております。いずれにいたしましても、健全な財政運営を基本とする中で、市民生活の安全・安心や地域経済の活性化を目指し、費用対効果、民間活力の導入や市民との協働を踏まえ、必要性及び緊急性の高い事業から優先して充実・着手してまいるとともに、市長の任期中には、全ての公約について、市民との約束を果たしていけるよう努力する所存であります。



西野 賢一 議員
[葦政クラブ]

その他質問

◆学校給食について

葦崎市内のイベントについて

質問 行政からも地域のイベントや祭り等に対して、支援をしていただきたいと思うがいかがか。

答 市長 それぞれの地域に古くから伝わる伝統行事や、住民親睦のためのお祭りなど、地域主体の催事が数多く催されていることは十分承知しておりますが、これらを全て支援していくことは困難なのでご理解願います。
質問 市制施行60周年記念事業の一環として実施された「ニッラが夢を叶えます」という企画は、今後もぜひ続けていって欲しいと思うがいかがか。
答 市長 願いが叶った市民からの喜びの声は言うまでもなく、多くの市民からも好評を得たところであります。明年度以降も継続的に実施してまいります。

葦崎市の防犯・防災について

質問 葦崎駅周辺に防犯カメラの設置が完了したが、どこに何台設置したのか。また新府駅、穴山駅への設置の状況はどのようなになっているのか。

答 市長 葦崎駅周辺では、市民交流センター2コリの正面2箇所、地下通路、駅舎正面入口付近、南側駐輪場の付近と人通りの多い箇所を中心に設置しております。また新府駅及び穴山駅への防犯カメラの設置については、現在のところ設置の予定はありません。

質問 除雪に関わり、小型除雪機が必要な地区、団体には小型除雪機購入費などの助成などをすべきと考えるがいかがか。

答 市長 地区、団体への小型除雪機購入費の助成については、2月の雪害を受け、市でも地区で実施する除雪への補助に

ついて見直しを行い、積雪深30cm以上となった場合、機械による除雪を行った地区に対する1km当たりの補助金を2万円に引き上げ、また人力で行った場合についても、地区均等割の2万円を補助するよう改正したところなので、当面は小型除雪機購入費の助成は考えておりません。

市民交流センターについて

質問 実用レベルではない2コリのコンピュータ研修室のパソコン設備の改善が必要だと思っていかがか。

答 市長 パソコン設備の改善につきましては、利用者にご不便かけないようにするため、十分検討し、前向きに考えていきたいと思えます。

質問 ニッリや庁舎等人の集まる施設を中心にWiFi環境の整備を優先的に進めるべきと考えるがいかがか。

答 企画財政課長 人がより集まり、稼働率も高い施設でのWiFi環境の優先的な整備は、設備環境等も含め、今後の検討課題とさせていただきます。

葦崎市消防団について

質問 消防団が抱える全国的な問題として、なり手の減少と団員の高齢化がある。本市の現状及び対策はどうかについて

答 市長 平成26年4月1日現在で、団員の平均年齢は36.1歳で平成15年度時点から比較すると、3歳ほど年齢が高くなっている。対策としては平成24年11月に葦崎市消防団再編活性化検討委員会を設置し、地区と協働で調査検討した。以後、同委員会の答申に基づき本年4月から団員定数及び活動区域の再編を行い、体制を再編成した。また活動協力員制度、消防団協力事業所表示制度の導入などを現在行っているところである。

質問 他市においては、市の新採用職員の研修入団や市内飲食店での割引サービスの導入、女性団員の募集などを行い、な

浅川 裕康 議員
[葦政クラブ]

その他質問

◆すずらん保育園について

質問 消防団が抱える全国的な問題として、なり手の減少と団員の高齢化がある。本市の現状及び対策はどうかについて

答 市長 現在も先輩職員から若手職員に地区の消防活動への参加を促したり、市役所独自に職員による多機能消防隊を組織して火災時の出動を行っている。今後も地元消防団活動を基本とし、職員の入団促進に努めていく。割引サービスについては、現在、商工会との協働による消防団サポート事業について協議しており、明年度の実施に向け調整している。女性団員の募集については、各分団の意向を踏まえた中での検討課題とした。

質問 消防団サポート事業を明年度の実施に向けて調整しているとのことだが、消防団は地域の防災減災の中核的組織だと考える中、これを支える団員、そして何よりも団員を支えるご家族へのサ

ポートについても配慮が必要と考えるが、当該事業の中にご家族へのサポートも含まれているのか。
答 総務課長 現在、商工会と協議を重ね明年度の実施に向けて調整しているが、ファミリーへのサポートが大変重要であり、そのような内容についても十分検討して、できる限り沿っていききたいと考えている。

市民後見制度について

質問 国立人口問題研究所の発表したデータによると、2030年には本市の人口の3分の1以上が高齢者となり、多くの社会福祉上の問題が発生することが予想される。在宅寝たきり高齢者や認知症高齢者の財産管理が問題となり、これに対する施策の1つとして、市民後見制度の導入が考えられる。法で市民後見推進事業への取り組みが求められているが、本市の考えはどうかか。

答 市長 市民後見育成については、本市における法人後見人の確保や市民後見推進事業を市単独で行うべきかも含め、総合的に検討していく。



岩下 良一 議員
[共伸クラブ]

財政健全化の具体的な施策について

質問 政府は消費税増税を先送りしました。増税分を財源に見込んでいた社会保障費の圧縮や無駄な歳出の削減を進めないと次の世代にツケを回してしまいます。専門家は放漫財政が続けば市場の信認を失い、金利上昇リスクは高まると指摘しています。市長は健全財政を維持するために財政をどのように運営されて行かれるか伺います。

回答 市長 企業誘致、徴収率の向上、補助金の整理・合理化、報酬の見直し等、また全ての事業をゼロベースで予算編成を行い、健全な財政運営に努めてまいります。

人口減少社会への対応について

質問 全国に1741ある自治体の51・5パーセントの896の市区町村

その他質問

◆第6次長期総合計画の見直しについて

が、26年後の2040年には消滅可能性都市にあたるかとされています。残念ながら本市も20歳から39歳までの女性の人口が2040年にはマイナス50・7パーセントとなり消滅しかねないと危惧されています。出生動向基本調査によりますと未婚女性の結婚希望率は89・4パーセント、欲しい子どもの数は2・12人で、若い日本人は結婚して最低2人は子どもが欲しいと思っています。私は子育て支援をする前に、「出会いと結婚の機会づくり」に取り組んでいただきたいと思いますが、お考えを伺います。

回答 市長 出会いと結婚の機会づくりも人口減少対策においては重要な施策であると認識しています。現在、人口対策本部ワーキンググループにおいて明年度に向けて、結婚環境の整備や子育て支援などを含めた事業検討を行っているところであります。

今後とも将来にわたって、活力ある地域と人口を維持できるような施策や事業を実施し、この問題に取り組んでまいります。

市道の改修について

質問 市道荊崎5号線の内、駅舎南のガードから荊崎郵便局前を経て旧堀内写真館までの間は、舗装が悪く地域住民や車の運転をされる方々から一日も早い道路改修が望まれています。市当局の対応をお示しください。

回答 市長 市道5号線の路面舗装については、実施に向けて検討しております。

質問 市道荊崎2号線については交通量が多く道路が悪い、騒音がひどく安眠を妨げている状況です。富士見3丁目地内の道路改修と黒沢川に架かる橋梁の改修については、既に地元自治会長から一刻も早く改修に着手されたいとの要望が出されていますが、お考えをお聞かせください。

回答 市長 黒沢川を横断する下町橋については、長寿命化計画ののっとり補修を実施してまいります。また、路面舗装についても補修に向け検討しております。



興石 賢一 議員
[共伸クラブ]

市長の政治姿勢について

質問 市民からの様々な要望等、大変厳しい財政の中で市政のかじ取りは大変なこととは思いますが、このような中で市長になろうと思われたことについて伺います。

回答 市長 私の住む野野地区は人口が少なく、市内で唯一1,000人を割っており、人口減少の波をかぶっています。子ども神輿では子どもの数より大人の数が多く、道づくりでは高齢の方が多く、このままでは地区が衰退してしまうのではないかと危機感を抱いていました。これは野野地区での出来事というよりも荊崎市の未来の姿ではないか、自分たちの子どもに代り、より良い荊崎市を引き継いでいくためには、危機感を抱くだけでなく、自ら行動しなくてはならないと強く

その他質問

◆公共事業の現状について
◆太陽光パネルと景観について

まちの活性化と観光振興について

触れ合う機会を設けることは有意義なものと考えますが、安全の確保が第一であり、当面は中央公園や穂坂自然公園などを積極的に活用し、安全で利用しやすい環境のもとで自然体験保育を進める考えです。

思ったことが市長になるうと考えた動機です。私は山歩きをしますが、道が険しいほどフアイトが湧いてきます。共に山に登る者同士助け合い、励まし合いが新たな勇気を呼び起こしてくれ、私が、「チーム荊崎」を言葉に全力で市政に当たっていく考えです。

教育について

質問 長野県の信州型自然保育認定登録制度を参考に、本市の自然環境や地域資源を活用して、園児の屋外での多様な体験を基軸とした活動を重視するべきと思いますが、お考えを伺います。

回答 市長 園児が自然と触れ合う体験は、好奇心や探究心の向上に有意義な保育カリキュラムなので、各保育園の周辺を散策し、草花などの観察をしながら自然と触れ合う機会を設けています。また野山等で園児に自然と

質問 高品質な果樹の栽培や収穫を体験できる観光農園やウェブサイトを立ち上げ、外国語のPRにより外国人観光客を誘致し、交流人口の増加を図ることは有効と思いますが、お考えを伺います。

回答 市長 外国人観光客の誘致については、来訪の際、外国人が必要とする宿泊施設や飲食店情報のほか、自然や歴史など本市の魅力ある観光情報を掲載した外国語版の観光パンフレットを作成し、富士の国やまなし館などでの配布やホームページでの発信により、誘客の促進に努めています。また観光農園や農業体験の提供による外国人観光客の誘致についても、既に実施している団体や農園経営者との連携に取り組みながら、交流人口の増加を図ってまいります。



小林 伸吉 議員
[公明党]

来年度予算と地方創生について

質問 まち・ひと・しごと創生法案など地方創生関連法案が国会を通過しました。急激な人口減少を緩めるという課題解決のためには、省庁がばらばらに進めてきた地域活性化施策を一括し、地方にとって使いやすい仕組みづくりを目指すことになりませんが、自治体自身が考える力を取り戻し、地域に最もふさわしい政策を総合的に策定することで生まれるものです。地方創生の観点から来年度予算にどう具体化するか以下の点を伺います。

その他質問

- ◆元気で明るいまちづくりについて
- ◆気象現象から学ぶ減災対策について

要です。そのための若者の雇用の確保、魅力ある地域づくりに向けての市の取り組みを伺います。

答える市長

1. 都市部の住民が地方へ移り住み、住民の生活支援など地域協力活動を行う「地域おこし協力隊」については、地域活性化のための手法の一つとして認識しています。今後、本市でも調査研究し、実現の可能性を探りたいと考えます。

2. 本市はこれまで医療や保育サービスの充実、居住環境の整備など、若者や子育て世代が安心して子どもを生み育てる環境づくりや魅力ある地域づくりに努めてきました。本年立ち上げた人口対策本部において施策の優先度を検討し、住まい、雇用、子育てなど各種施策を展開していく考えです。

子どもを産み育てやすい環境づくりについて

質問 妊娠・出産・育児の支援について伺います。母子の愛情形成の上で出産直後の1カ月間が最も重要な期間であり、出産早期の親子関係が虐待や育児放棄の予防、早期発見などに役割を果たすと言われています。国は本年、出産直後の女性の心身をサポートする妊娠・出産包括支援モデル事業を計上し、全国で始めています。市の取り組みを伺います。

答える市長

本市では、全妊婦を対象に健康相談、出産後は、全産婦・出生児の家庭訪問を実施し、母親の精神状態や授乳状況、乳児の発育測定などを確認し、育児支援やアドバイスを行うとともに、支援が必要な母子にはフォローアップ訪問を行い、支援しております。今後の支援として、育児不安解消や体力回復のための日帰りのサービスや、市民交流センターに開院予定の産婦人科医院のご協力をいただく中で、実施に向け検討してまいります。明年度、開設予定の山梨県産後ケアセンターとも連携を図り、産婦の心身両面のサポートを行う考えです。



森本由美子 議員
[公明党]

聴覚障害者の意思疎通に関する取り組みについて

質問 2011年8月に障害者基本法が改正され、手話は言語であると位置づけられました。手話を日常生活の言語としている方々が暮らしやすい社会参加をしていく上で、正確な情報を得たり、自らの意思を伝えるというコミュニケーションを確立していくために、手話通訳者を介して意思疎通を図っており、手話通訳者には非常に重要な役割を担っていただいております。今後さらに高度な手話の技術を有する手話通訳者の養成を強化し、確保していくことが重要と考えますがどのように取り組んでいきますか。

答える市長

本年度より手話教室を通年で開催し、初級コース修了後は引き続き中級コースを受講できるように受講体制を強化してまいります。

その他質問

- ◆市内地域体育館の整備について
- ◆新規就農者の育成支援について
- ◆小武川取水口の整備について

化しています。

質問 手話通訳をされる方の手話通訳士へのステップアップの取り組みは、

行っています講習会等に積極的に参加していた

だけのように働きかけて

いきます。

質問 市役所の窓口到手話通訳者を設置すべきと考えますが。

答える市長 指定日を定めるの設置につきましては、

今後検討してまいります。

質問 災害時には耳が聞こえなくて情報が届かないことや、手話や筆談でのコミュニケーションが必要なことを自らアピールする必要があり

ます。

「耳が聞こえませんが、手話ができます」という言葉を印刷した災害時援助用のパンダナの配付は有効と考えますが。

答える市長 パンダナの配付、活用も有効と考えられますので、検討してまいります。

「全国トップレベルの健康寿命を目指す」施策について

質問 人と人との触れ合いや助け合いの中で、自分が必要とされているという実感が生きる糧となり、元気の源であると考えます。ひとり暮らしや高齢者世帯が増えていく中で、家に引きこもり、地域から孤立してしまいがちですが、大いに家を出て気軽に立ち寄れる居場所づくりが必要であると考えます。地域には人がいて、知恵があり、技術があり、空き家がたくさんあります。その地域資源を生かしながら、子どもから高齢者までが元気に気軽に立ち寄れる居場所づくりの推進を望みます。ハード面、ソフト面の両面からの支援が必要と考えますが。

答える市長 介護予防の視点から捉えるならば、高齢者の方々などが気軽に立ち寄り、地域にあるソーシャルネットワークも活用した居場所づくりなどの施策の展開は、一層重要なものとなっていくことから、庁内で横断的に取り組んでまいります。



藤嶋 英毅 議員
[経世クラブ]

その他質問

- ◆教職員の増員について
- ◆危険ドラッグ乱用防止講座開設について
- ◆活断層地域の明示について

市長の政治姿勢について

質問 全ての人が、希望すれば普通のクラス的生活ができるという日本の姿を取り戻すことが、今の政治に強く求められています。雇業者報酬の減少、貯蓄無し世帯と年収200万円以下のワーキングプア増大など、格差の拡大により貧困層が増大しています。弱者に陽を充てることが政治の本来の使命ではないでしょうか。市長は所信表明や立候補演説で、しばしば「市民の目線」という言葉を発表しております。市長が言う「市民の目線で行政運営」というその中身は、「困ったとき、辛いとき、それをしっかりと下支えして押し上げていくことが本当の政治の姿」という考えが含まれている。と理解しますがよろしいでしょうか。

答 市長 私は、政治経

験も行政経験も無いまま市長になりましたが、それは取りも直さず一般市民と同じ目線であたることのできるという事です。事務事業を行政サービスを受ける側の目線で捉え、より良いものに改善しようとする姿勢をとることが出来るものと考えております。議員が言う「希望すれば普通クラスの生活ができる」とは、「市民福祉の向上」という大きな行政課題と考えておりますので、多くの市民の意見を聞きながら施策を推進してまいります。

市長 米の価格設定

米の価格設定については、全国の米の収穫量によって決定されるので、本年度は、西日本は台風等により作況指数が98でしたが、全国は平均100でした。また、国民の米の消費量も年々減っていることから、米の販売価格が下がったものであります。米の価格の安定対策については、生産調整を目的とした経営所得安定対策推進事業により米の需給バランスの適正化を図っています。平成30年より本制度は終了するため、作付けについての制限はなくなり自由化となります。今後、農協等と連携を図りながら米の価格の動向を注視するとともに、中山間地域等直接支払い事業による農家への直接支援や、省力化等を目的とする各種基盤整備事業を推進し、耕作放棄地対策や生産コスト削減を図ることにより、農家の収益率向上に向け、引き続き支援してまいります。

水田農業の支援について

質問 25年産米(30kg)7770円、26年産米(30kg)6,300円と大幅に価格が低下しています。米の全国平均生産費は60kgあたり16,000円。政府は、農業の生産費を60kgあたり9,600円



小林恵理子 議員
[日本共産党]

その他質問

- ◆市長の政治姿勢について
- ◆国民健康保険税の引き下げについて
- ◆男女が共に活躍できる社会について

中小企業支援策について

質問 中小企業が元気になつてこそ、日本経済再生の道が開かれます。市長は所信表明で「小規模企業基本条例」を制定し、地域の経済と雇用を支える中小企業の振興に注力する」と述べています。

条例制定では、「全事業所実態調査」を行い、

中小企業の実態を把握し、得られた情報を施策に生かすこと。商工施策だけでなく、福祉やまちづくりなど幅広い施策に反映させること。また、中小業者・金融機関・市職員などの当事者が「主役」となって実践を進めることが不可欠です。推進体制として、経営者、金融機関、市職員などで構成する「中小企業振興会議」をつくり、中小企業の声を生かすことが大切と考えます。

また、本市でも実施している住環境の改善・整備で、住民に喜ばれるとともに、波及効果の大きさで地域経済対策としても大きな威力を発揮している「住宅リフォーム助成制度」をさらに地域経済の活性化につなげるため、対象となる工事を増やし、助成金額の増額を行うべきです。

質問 市長 「小規模企業基本条例」を制定することは、優先事項の1つであると考えます。今後、県においても条例制定を検討されると伺っていますので、県の動向を注視しながら、ご提言の手法なども含め、制定時期や具体的な支援策等を検討してまいります。

質問 「住宅リフォーム制度」の対象工事費や助成制度は、県内他市町村の状況を見ても妥当と考えております。制度の趣旨の市民の居住環境の向上、既存住宅の有効活用及び地

域経済の活性化は図られており、制度の拡充は考えておりません。

子育て支援策について

質問 働きながら子育てができる職場、子育てや教育へのお金の心配のない社会など、安心して子育てできる社会への願いは切実です。自治体の努力で子育て支援を強め、子育てしやすい環境の整備が求められています。

第2子保育料は、国の定める50%の減額でなく、上乘せして75%の減額をしていますが、さらに一歩進めて残りの25%も支援し無料化に、また子ども医療費は高校3年生までの拡大を行い、子育て支援の充実に取り組みべきです。

質問 市長 保育料につきましては、新制度での国の基準が示された後に検討してまいりたいと考えております。

子ども医療費の無料化拡大については、この医療費無料化は、子育て支援策の中の1つではあると考えられますが、助成期間の拡大は、財政への影響が大きいいため、困難であると考えております。

委 員 会 活 動 報 告

12月19日の本会議において、総務教育、市民生活及び産業建設各常任委員会にそれぞれ付託された議案、並びに継続審査案件となっている請願について審査するため、12月22日に各常任委員会を開催し審査しました。

各常任委員会での審査結果については、12月25日の本会議において、それぞれの常任委員会委員長から審査経過とあわせ報告し、採決しました。

※各常任委員会に付託された議案（条例）、議決結果については、5頁の「平成26年第4回定例会 議決結果一覧表」をご覧ください。

総務教育常任委員会

（出席議員6人）

主な審査事項

○議案第79号、80号、91号及び請願第26-18号（継続審査案件）

- ・右の3議案については、全員一致で可決すべきものと決しました。
- ・請願第26-18号「消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願」については、全員一致で継続審査案件とすることに決しました。

市民生活常任委員会

（出席議員5人）

主な審査事項

○議案第73号、74号、75号、76号、77号、78号、81号、82号、83号、85号、86号、87号、88号及び請願第26-17号（継続審査案件）

- ・右の13議案については、全員一致で可決すべきものと決しました。
- ・請願第26-17号「誰もが安心して老後をくらせる最低保障年金制度の創設を求める請願」については、全員一致で継続審査案件とすることに決しました。

産業建設常任委員会

（出席議員6人）

主な審査事項

○議案第84号、89号、90号、請願第26-12号及び26-13号（両請願は継続審査案件）

- ・右の3議案については、全員一致で可決すべきものと決しました。
- ・請願第26-12号「労働者派遣法の改悪に反対する意見書の提出を求める請願」については、全員一致で継続審査案件とすることに決しました。
- ・請願第26-13号「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書については、賃金や最低賃金の地域格差など議論のうえ、賛成多数により継続審査案件とすることに決しました。

研修報告 研 習 会



■ 山梨県市議会議長会議員合同 研修会・山梨県市町村自治講演会（2月5日）

午前中は合同研修会に、午後は自治講演会に出席しました。合同研修会では東京大学大学院教授 金井 利之氏から「人口減少社会における自治体議会の対応」、自治講演会では京都大学名誉教授 中西 輝政氏から「世界の動きと日本の進路」と題して、それぞれ受講しました。講演では、人口減少社会の実態と今後の地方自治体に望まれる行政運営や、国際情勢、諸外国の動向などが話され、議員活動の根源とする自己研鑽や、世界の流れを総合的に観察して、日本が進むべき道を見定めることの重要性を研修しました。



〔市町村自治講演会〕



研修報告

現地視察

行政視察

■ すずらん保育園を視察しました



2月12日、議員全員で大草町の「すずらん保育園」を視察しました。3月23日の開園に向け工事も最終工程となっていて、園児を迎える準備が進められていました。木の香り、ぬくもりを体感できる素晴らしい園舎でありました。子どもたちの健やかな成長、子育て支援の充実など、様々な保育ニーズに応える保育園として広く親しまれ、利用者からも好評が得られる保育園として運営されることを期待しております。

■ 議会運営委員会行政視察研修



[鎌ヶ谷市議会での研修]

1月28日から29日の2日間、千葉県鎌ヶ谷市議会及び茨城県守谷市議会を視察研修してきました。議会運営委員会委員及び議長が出席し、研修先の議員、市職員から議員発議による条例制定や議会による事業評価、また議会改革への継続した取組みなどについて説明を受け、質疑や意見交換を行いました。研修の成果を活かして、本市の議会活動の一層の活性化に努めていきます。

編集後記

11月の臨時議会の委員選任により、今号から私たちが新たに「議会だより編集委員会」となりました。「議会だより」は皆様に議会の活動状況を発信できる有意義な情報誌として、掲載内容の充実に努めてまいります。

さて、2月9日に本市で初めての女性議会を開催しました。18人の女性議員が参加され、市執行部と質疑応答が交わされました。女性の市政への参画、協働のまちづくりの推進にふさわしい取り組みであ

ったと思います。これからの市政の発展には、地域の一層の幅広い市民の力が欠かせません。議会も皆さんと力を合わせて一層精進を重ねてまいります。

議会だより編集委員会

委員長	清水 一
副委員長	秋山 泉
委員	一木 長博
委員	森本由美子
委員	小林 伸吉
委員	岩下 良一

2月26日 開会、諸報告、市長所信表明、財務常任委員会

3月 9日 代表質問・一般質問
10日 一般質問
12日 議案審議
13日 各常任委員会
16日 財務常任委員会
18日 議案審議、委員会報告、閉会

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。
※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。
※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

3月定例会日程〈予定〉